

# 笹口小だより



令和5年10月6日  
新潟市立笹口小学校 学校だより

ホームページ「日々のブログ」もぜひご覧ください。

## 子どもの成長を支える豊かな心の育成

校長

「暑いですね～」例年夏の挨拶の定番ですが、今年ほど実感を込めてこの言葉を使った年はなかったかもしれません。これまで経験したことのないような厳しい暑さが続いた今年の夏。新潟市中央区でも、最高気温30度以上の真夏日の日数は、平年値36.3日に対し、今年64日で観測史上最多となり、つい最近まで猛暑が続きました。

この「予測できなかった」猛暑を、笹口小学校の子どもたちは、様々な工夫や気持ちの調整をしながら、乗り越えました。目の前の問題解決のために知恵を絞って考える、あきらめないでチャレンジする、時には他者と協働して困難に立ち向かう、これこそが、「たくましく生きる力」なんだと思っています。

当校の教育ビジョンを改めて見てみましょう。保護者の皆様もお子さんになったつもりで、ご自分に引き寄せて考えてみてください。

まず、「可能性を伸ばす力」です。「子どもたちには、無限の可能性がある」とよく言います。私もそう思っています。では、その可能性を伸ばすには、どうすればよいのでしょうか。出発点は、多くの成功体験により自分の可能性を感じるのだと考えます。自己肯定感に近い感情かもしれません。

子どもの頃の私は地理の学習が好きで、将来中学校社会科の教員免許を取得することになりましたが、最初のきっかけは、都道府県名や県庁所在地名、国名や首都名などについて友だちと問題を出し合い、自信を深めたことでした。子どもたちはそれぞれ興味関心も違いますが、多くの成功体験により好きなことや楽しみを増やしていくことが大切だと考えます。

次に「尊重し合う力」です。前号でも触れましたが、子どもたちが生きる将来は、一層多様性が重視されます。多様性を尊重するためには、まず相手のことを知ることから始まります。そのためには、「共感性」が必要です。まずは、相手の立場や気持ちに近づき、同じフレームに収まってみるということです。そこから見えてくるものを大切にしたいと考えます。

最後に、「挑戦する力」です。「レジリエンス」という言葉があります。これは元々物理学の言葉で「回復力・復元力」という意味です。鋼鉄は硬いけれど強い衝撃が加わると割れてしまいます。しかし、ゴムのように弾力性がある物は外圧に強いことから心理学でも「くじけないしなやかな心」といった意味で使われます。挑戦するために必要なのは、鋼のような心ではなく、衝撃を吸収したり跳ね返したりかわしたりできる柔軟性のある心だと考えます。

本紙に掲載した終業式での子どもたちの振り返りをご覧ください。「可能性」「尊重」「挑戦」を感じられるたくさんの素敵な記述を見つかることができると思います。笹口小学校の子どもたちの学びの軌跡の一端を感じていただくと幸いです。

この半年の、保護者・地域の皆様からのご協力に心より感謝しております。後期も学校・保護者・地域が連携し、大切な笹口小の子どもたちの健やかな成長を応援していきましょう。

学校教育ビジョンで目指す3つの資質・能力  
「可能性を伸ばす力」「尊重し合う力」「挑戦する力」  
について、前期を振り返って、子どもたちが自分の成長を確かめました。

\*前期終業式でスピーチしてもらいました。

1年生児童

ぼくは、しょうがっこうでもだちがたくさんできました。ともだちとのべんきょうはたのしいです。あさがおをうえるときには、ともだちとちからをあわせてやりました。たくさんはながさいて、たくさんたねがとれました。

たいいくのリレーあそびでは、ともだちがコーンのまわりかたをおしえてくれました。ぼくは、チームのみんなをおうえんしました。いちいにはなれなかったけど、まえよりはよくなりました。ともだちといっしょだとパワーアップします。これからもともだちとがんばります。(可能性)



1年 体育「ごむとびらんど」

2年生児童

ぼくがぜんきががんばったことは、ちょうせんです。うんどう会でたくさんの方にちょうせんしました。とくにがんばったことは、50メートルそうです。足を上げることや、うでをはやくうごかすことをたくさんれんしゅうしました。そのおかげで1年生のときよりもはやくはしることができました。

こうきもたくさん体をうごかしてちょうせんしたいです。

(挑戦)



2年 生活科「ぐんぐんそだてわたしの野さい～アグリパーク見学～」

3年生児童

ぼくが前期がんばったのは、「可能性」と「挑戦」です。プールの授業で、クロールの息継ぎがうまくできませんでした。水が口に入っておぼれそうになりました。だから、ゆっくり手をかいて、思いっきり空が見えるまで、顔を横向きにあげるようにしました。そうしたら、少しだけ水が入ってきたけれど、前より上手に息継ぎができるようになりました。

後期は、「可能性」を伸ばすために、苦手なものも頑張ります。

(可能性・挑戦)



3年 総合「笹口のひみつ発見たんけん」

4年生児童

私は前期に、国語や算数など、いろいろな教科を頑張りました。一番頑張ったのは、総合です。私は総合で「笹口大好き」という勉強をしました。笹口のことを大好きになるという事を目標に、けやき通りを研究しました。ほっとハウスのことや光のページェントのことをいろいろな人に教えてもらいました。実際にけやき通りを歩いたり、昔の遊びをしたりもしました。とても楽しい授業でした。私は研究して分かったことを動画にまとめて発表するので、友達と協力して動画を作っています。またこのような楽しい授業をしてみたいな、と心の底から思いました。(挑戦・尊重)

#### 4年生児童

私が前期で頑張ったことは、国語の漢字テストです。四年生になってから難しい漢字が増えて50問覚えるのが大変でした。送りがなの付く漢字が特に難しかったです。先生が問題のプリントを作ってくれたので何回も家で練習しました。一生懸命に練習したので夏休み前のテストでは100点を取ることができました。夏休みの後の漢字テストでは都道府県の漢字がたくさん出てなかなか覚える事ができなくて夏休み中に一生懸命に練習しました。1問間違えてしまって98点でした。すごく悔しかったです。担任の先生は、漢字は大人になってからも使うから大事だよと、しんじょうや、止め、はらいをきびしく教えてくれるので100点は取れなかったけど間違いに気付いて良かったです。

後期も、一生懸命に練習して漢字を覚えたいです。私は漢字をたくさん勉強して、分かることが増えるたびに自信がどんどん付いてくることに気付きました。これからも、色々なことにチャレンジして、どんなことでも自信をもって取り組める5年生を目指したいです。(可能性・挑戦)



4年 図工「ここにいたい」

#### 5年生児童

ぼくが前期の活動の中で、心に残っていることは、2つあります。

1つ目は、「自然教室がとても楽しかったこと」です。特に楽しかったのは、カヌーです。最初は、こぐのが難しかったけれど、だんだんコントロールできるようになりました。川の水に手をつけてみたら冷たくて、気持ちがよかったです。みんなで協力しながら過ごすことができた自然教室は、大きな成長につながったと思います。

2つ目は、河原に落ちてケガをした女の子を助けて、「感謝状」をもらったことです。公園で遊んでいた時に、偶然人助けできたのですが、自分にとって貴重な経験になりました。後期も、もっと成長して、優しい6年生になることが、ぼくの今の目標です。(可能性・挑戦)



5年 自然教室「カヌーに挑戦」

#### 6年生児童

私が前期で、心に残っているのは、修学旅行です。私は、修学旅行実行委員になりました。修学旅行のしおり作りや、班決めなど、大変でした。修学旅行当日の出発式になると、楽しい気持ちと緊張している気持ちの2つがありました。しかし、いざ修学旅行で、佐渡に着くと今までの苦労がなくなるくらい楽しい思い出になりました。トキを見たこと、砂金を取れたこと、ろくろを作ったこと、たらい舟に乗ったこと、みんなでホテルに泊まったこと、この全ては、忘れることのない思い出になりました。

委員会では、図書委員長になり、みんなを引っ張っていけるように頑張りました。休み時間になると、いろんな人が図書室に来てくれて、図書委員長になってよかったなと思いました。

後期には、光のページェントがあります。毎年、けやき通りに明かりをつけ、たくさんの方が来てくれています。今年は、今まで以上にたくさんの方に来て楽しんでもらい、来年も行きたいと思えるような、光のページェントにします。(可能性・挑戦)



6年 総合「大好き新潟 私たちのけやき通り～光のページェント実行委員会へのプレゼン発表～」